道　標（みちしるべ）

平成 22 年 10 月 4 日
第 98 号　校長　稲垣　達也

データベースを活用する学習指導の研究①

社団法人 全国学校図書館協議会（ＳＬＡ）から、標記の研究協力校の依頼がありました。正式の研究名称は、〔複数の商用データベースを活用する学習指導の事例研究〕です。

内容は、**『データベースが無料で使えるので、授業等で活用して、使い勝手を報告してね』**というものです。有効な資源・教材として、積極的な活用をお願いします。

実　施　概　要

〔 背　景 〕

インターネットや携帯電話などの情報技術が急速に進化する中、学校のＩＣＴ環境の整備も進み、パソコンは教育現場でも欠かせなくなってきている。一方で、情報量が爆発的に増える中で、確かな情報を入手し活用する教育のニーズが高まっている。欧米などでは、学校図書館が核となり、商用データベースを使って児童生徒の情報活用力を育む活動が盛んになっているが、国内ではまだ活用事例はほとんどない。

また、自ら学び自ら考える児童生徒の育成には、探究型学習のような自ら課題を設定して、資料等を使って調べ、成果を発表するなどの過程を日常的に積み重ねていくことが重要である。児童生徒の多様な学習課題に対応するには、図書資料やファイル資料の充実とともにデータベースの利用が欠かせない。

〔 目　的 〕

今回のねらいは、データベースが学習に有用なことの理解やデータベースの導入を阻害している要因の解明とその排除方法などを明らかすることである。そして、学校図書館に優良なデータベースを導入するためのモデルを構築したいと考えている。そこで、研究協力校においてデータベースを活用する学習に取り組み、その成果を実践事例としてまとめてほしい。

〔 実 施 方 法 〕

(1) 実践校の指定

東京都及び近県の小学校 2 校、中学校 2 校、高等学校及び中等教育学校 2 校を指定。
研究協力校は、授業で図書館を活用する活動に熱心に取り組む学校を指定する。

(2) 実践校における活動内容

① データベースを活用する学習指導（各教科の授業、調べ学習や小論文、英語など）
② データベースを活用する特別活動（クラブ・委員会活動など）

〔 委 嘱 期 間 〕

平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで
（ただし、さらに平成 23 年 4 月 1 日から 1 年間継続することを前提とする。）

〔 報 告 書 〕

平成 23 年 3 月末に、データベースを利用した学習活動の実践内容をまとめ、データベース利用上の利点、及び課題などを報告する。報告会、発表会等は予定しない。

〔 経　費 〕

無償で商用データベースを同時に複数のコンピュータで利用できる。

〔 デ ー タ ベ ー ス 〕

教科書のように学習のねらいに適した情報を効率よく集約したものを選定する。

道　標（みちしるべ）

平成22年10月5日
第99号　校長　稲垣　達也

データベースを活用する学習指導の研究②

実施の手引き

〔研究の目的〕

この研究は、学校図書館を活用する学習における商用データベースの有効性を検証することを目的としている。研究協力校においては、複数の商用データベースを学習に活用し、成果を実践事例としてまとめる。ただし、校種により、商用データベースの種類と数が異なる。

商用データベースの名称一覧（◎：最適、○：適、△：可能、×：不適）

No.	分類	データベースの名称	提供会社名	小	中	高
1	新聞	朝日けんさくくん	朝日新聞社	○	◎	◎
2		日経テレコン21	日経メディアマーケティング	×	△	◎
3		スクールヨミダス	読売新聞社	○	◎	◎
4	事典	ジャパンナレッジ	株式会社ネットアドバンス	×	△	◎
5		ブリタニカ・オンライン・ジャパン	ブリタニカ・ジャパン株式会社	×	△	◎
6		ポプラディアネット	ポプラ社	◎	○	△
7	年表	理科年表	丸善株式会社	△	◎	◎

〔研究活動の予定〕

10月～3月　学校図書館を活用する学習指導等において複数の商用データベースを利用する。
10月　校内の必要に応じて利用方法の説明会を開催する。　10月＿＿日＿＿時から
3月　研究の報告書を提出する。

〔活動内容〕

(1) 対象教科　なるべく多くの教科等で利用する。（全教科等でなくても構わない）
(2) 利用者　利用者は、教員、学校司書、児童生徒とする。その他はＳＬＡに相談する。
(3) 事例数　任意。「ちょっと使ってみようかな」と思った方は積極的に！
(4) 記　録　活用したら、その都度（単元毎）所定の様式に記録して、稲垣に提出する。
(5) まとめ　年度末に事例研究の「まとめ」を書式に書いて提出する。書式は2ページ。

〔データベースの利用〕

(1) 利用方法　データベース提供各社より各学校にデータベースを同時利用できる数と手順を送付する。それにより自由に利用できる。ログイン情報の管理は厳重に行う。利用詳細については、各社の利用規約によるものとする。
(2) 管理運営　運営は、データベースを学校図書館の情報源の一つとして利用するので、司書教諭、学校司書等の学校図書館担当者等とする。
(3) その他　データベースの使い方等については、各社から各学校に別途ご連絡する。

〔提出物〕　※ *稲垣が作成する*

(1) 10月31日まで　「研究協力校の概要」、「学校図書館の概要」
(2) 3月末まで　「データベース活用学習指導の事例研究のまとめ」

〔問い合わせ〕

(1) 学習指導におけるデータベースの利用法等に関する質問：全国学校図書館協議会へ
(2) データベースの利用方法や管理・運営、トラブル等について：データベース各社へ

道　標（みちしるべ）

第104号　平成22年10月13日　校長　稲垣　達也

データベースを活用する学習指導の研究③

利用開始方法

【 朝日けんさくくん「School タイプ」 】

小中学校等を対象に、朝日新聞記事データベースその他の各種コンテンツを提供する情報サービスです。「朝日けんさくくん」では**特定のＰＣ５０台を登録**しテキスト型の記事検索ができ、School タイプでは「聞蔵２」が加わり２台の端末で紙面イメージ付の記事検索の閲読ができます。

ＩＤ・パスワードは、全台共有です。副校長に問い合わせてください。取扱注意。

〔朝日けんさくくん〕

端末特定型：初期設定（ユーザーID、パスワード）で端末を特定して登録します。変更不可。

PC 室 21 台 ＋ 図書館 3 台 ＋ 職員室 1 台 ＋ 教員用 PC25 台

○ 接続先ＵＲＬ　http:/school.asahi.com

○ サービス詳細　http://www.asahi.com/information/db/kensaku.html

〔聞蔵２ビジュアル〕

端末特定型：パソコン室１台 ＋ 旧型 PC1 台

○ 接続先ＵＲＬ　http:/database.asahi.com/library2/

【 スクールヨミダス 】

インターネットで記事をテキスト検索できるオンライン記事データベースです。検索画面は二つ。一つは「記事検索画面」。1986 年 9 月からの読売新聞全国版記事と 1986 年 12 月から逐次、地域版記事を収録しています。二つ目は「英字検索画面」。1989 年 9 月からの英字紙「THE DAILY YOMIURI」記事を収録しています。**不特定のＰＣ５０台まで同時にアクセス**できます。

〔ヨミダス文書館〕

○ 接続先ＵＲＬ　https://database.yomiuri.co.jp/school/

○ **ＩＤ・パスワードは、全台共有**です。

【 ポプラディアネット 】

ポプラ社が提供するオンライン百科事典サービスです。日々の情報更新や豊富なマルチメディアが、子供たちの意欲的な学習をサポートします。ポプラ社責任編集で安心、安全、楽しいオンライン百科事典です。**不特定のＰＣ５０台まで同時にアクセス**できます。

〔ポプラディアネット〕

○ 接続先ＵＲＬ http://poplardia.net/

○ **ＩＤ・パスワードは、５０台分**

◆百科事典機能　・簡単な検索機能　・正確な情報
・ふりがな対応　・項目リンク機能　・豊富なマルチメディア

◆情報がいつでも新しい　・今日のキーワード　・項目更新

50 台の割振り　No1：校長　No. 2：副校長　No. 3～20：1 年 1 組～6 年 3 組の担任 18 台
No. 21～24：算数、理科、音楽、図工 4 台　No. 25：すずかけ　No. 26～28：図書館
No. 29：職員室　No. 30：PC 室の教師用　No. 31～50：PC 室の児童用 20 台

道　標（みちしるべ）第105号

平成22年10月14日
校長　稲垣　達也

データベースを活用する学習指導の研究④

利　用　規　定

【利用規程】基本的な留意事項

〔著作権〕

○データ、コンテンツ等の著作権は、当該サービス機関もしくは著作者に帰属する。

〔ＩＤ・パスワードの管理〕

○第三者への譲渡、貸与、開示を一切禁止する。
　ＩＤ・パスワードは適正に管理し、当該校以外の第三者に漏らしてはならない。

〔利用範囲〕

○利用者は、当該校内での使用に限り、データをプリントアウトしたり、電子媒体等にコピーすることができる。
・児童が調べ学習などで、コンテンツをリポートにまとめること。→ 可
・教員がコンテンツを利用して教材や問題を作成し、印刷して児童に配布すること。→ 可
・コンテンツを利用した通信を作成し、保護者向けに配布すること。→ 不可

○電子メールその他の方法により学校外への持ち出し、発信、送信を禁じる。
○データを授業で使用する場合は、出展を明記すること。

〔禁止行為〕

○学校の敷地外（他校、自宅など）で利用すること。
○学校教育（授業または教材研究など）以外の目的で使用すること。
○著作権その他の権利を侵害する行為。

【記録様式】

以下の様式を、共有フォルダー → 校長様式 → データベース に入れました。データベースを活用した授業をしたら、記入して、随時、稲垣に提出してください。手書きで結構です。
また、授業記録を写真に残したいので、できれば実施前に、稲垣に声を掛けてください。

10月 10日（日） 5校時	学 年	6年	教科名	サンサンタイム	指導者名	さんしょう
授業の概要	データベース名　：　朝日けんさくくん					
	単元名　：　新聞に親しもう					
	授業のねらい　：　興味をもった記事を選び、感想を書き留めることができる。					
	データベース活用のポイント　：　児童が主体的に資料を収集（検索）し、スクラップする。					
データベースを活用した効果　：　キーワードで多数の記事が検索でき、興味のある記事（内容）を容易に探し出すことができた。探す時間が短縮でき、読む・考える・書く時間が確保できた。						
データベース活用上の課題　：　「新聞（紙面）を読む」という学習ではなく、あくまでも「記事を探す（検索する）」という活動に終始してしまい、新聞（紙面）に親しめたとは言い難い。						
その他、気づいたこと　：　テキストと同時に新聞縮小版のように、新聞紙面そのままが見られるともっといい。ネット環境のせいか通信速度が極端に遅いときがあった。						